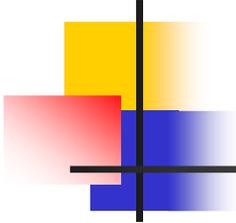


EU加盟と ブルガリア経済・投資動向

2007年2月12日

JETROウィーンセンター
三宅浩四郎



ブルガリアといえば。。

1. ブルガリアヨーグルト
2. 琴欧州
3. ???

実は。。

EU加盟で市場・生産拠点として注目
ITレベルが高く、欧米のハイテク企業が進出
欧州と中東の狭間の貴重な地の利
南東欧のエネルギーの要衝

ブルガリアのSWOT分析

Strength

- ・ 堅調な経済成長
- ・ 低コストの労働力
- ・ 低い法人税、投資優遇制度
- ・ 欧州とアジア・中東をつなぐ立地

Opportunity

- ・ EU加盟
- ・ 外国企業の進出
- ・ エネルギーの要衝

Weakness

- ・ 未発達なインフラ
- ・ 腐敗・汚職
- ・ 低い生産性・品質
- ・ 低い行政効率

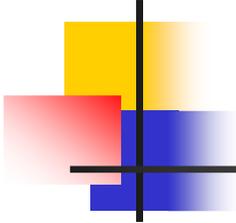
Threat

- ・ 過熱気味の経済
- ・ ロシアへのエネルギー依存
- ・ 人口減少
- ・ 不安定な政情

ブルガリアの概要 - 地勢

- 人口約767万人、面積約11.1万km²（日本の約1/3弱）
- 人口の約8割がブルガリア人、約1割がトルコ系、約4%がロマ系
- ブルガリア正教（約8割）、
イスラム教（約1割）、
カソリック（約1%）
- ソフィアの人口は約110万
- 国内は28州及びソフィアから成り、主な都市は、
プロヴディフ（34万人）、
バルナ（30万人）、
ブルガス（20万人）、
ルセ（17万人）、
スタラザゴラ（15万人）、
プレベン（12万人）等





ブルガリアの概要 - 政治・経済

- 国家元首は大統領（直接投票により選挙。任期5年で2選まで可）。ただし、実質的な政治権力は首相が掌握。
- 議会は一院制で、任期4年の240人の議員から成る。
- 欧州議会では18議席を占め、全体（785議席）の2.3%。
- 名目GDP（2005年）は214億ユーロで、EU27全体（10兆9,495億ユーロ）の0.2%。（人口は1.6%）
- 一人当たりGDPは2,800ユーロ（2005年）で、EU平均（2万2,300ユーロ）の約8分の1。
- 1ユーロ = 1.95583レヴァでユーロにペッグ。
- 2004年にNATO加盟。
- 2005年5月にEU憲法批准
- 2007年1月1日、EUに加盟。
- 2009年のシェンゲン条約批准を目指す。
- 2010年のユーロ導入を目指す（2007年中にERM2参加予定）。

経済動向 - 主要経済指標

- 近5年で平均約5%の経済成長
- インフレ率はやや高め、失業率は改善
- 2004年に財政は黒字転換し、対外債務も削減基調

	GDP 百万ユー ロ	実質GDP 成長率 %	一人当 りGDP ユーロ	インフレ 率 %	平均失業 率 %	平均月額 賃金 ユーロ	対外債務 GDP%	財政赤字 GDP% ▲ : 赤字	基準金利 年末 %
2001	15,189	4.1	1,920	7.4	19.7	123	66.2	▲ 0.6	4.67
2002	16,531	4.9	2,101	5.8	17.8	132	53.2	▲ 0.7	3.35
2003	17,662	4.5	2,258	2.3	13.7	140	46.2	▲ 0.0	2.67
2004	19,568	5.7	2,515	6.1	12.0	149	38.8	1.7	2.36
2005	21,446	5.5	2,771	5.0	10.1	163	29.9	3.2	2.05
2006 (暫 定)	24,029	5.5	n.a.	7.0	9.0	n.a.	25.0	3.0	3.19
2007(予想)	26,483	5.0	n.a.	5.0	8.0	n.a.	23.0	1.0	n.a.

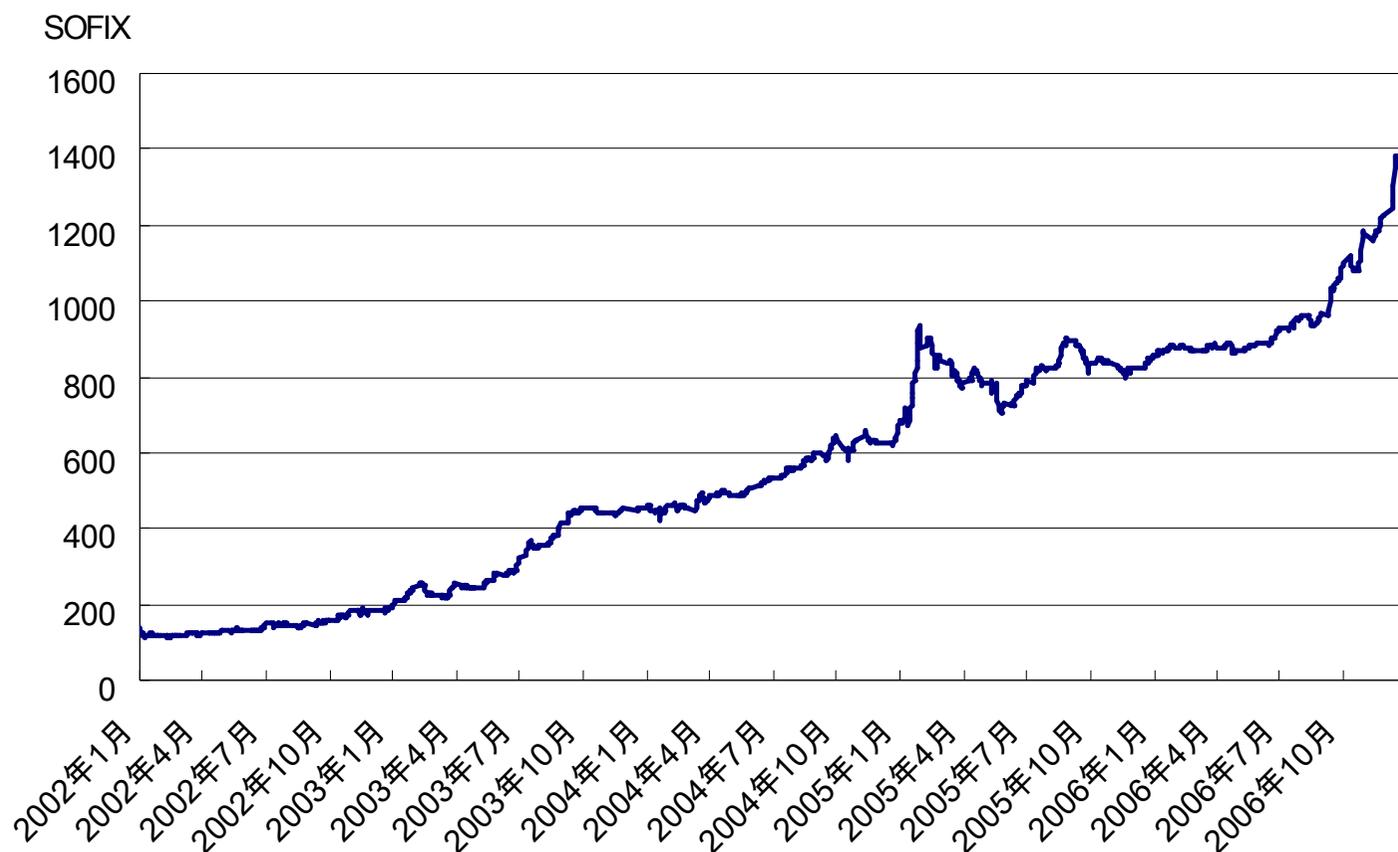
経済動向 - ユーロ導入の見通し

- 2010年のユーロ導入を目指す
- インフレ率以外の指標はクリア、為替相場変動メカニズム (ERM2) には年内に参加予定

目標	インフレ率	財政赤字	累積債務	長期金利	ERM 2	導入予定
	2.8%以下	GDP比 3.0%以下	GDP比 60%以下	6.2%以下	2年間参加	
エストニア	4.3	2.5	4	4.5	2004年6月	2008年
チェコ	2.2	▲ 3.5	31	3.8	未参加	2009年
スロバキア	4.3	▲ 3.4	33	4.3	2005年11月	2009年
ハンガリー	3.5	▲ 10.1	68	7.1	未参加	2010年
ラトビア	6.7	▲ 1.0	11	3.9	2005年5月	2010年
ブルガリア	7.0	▲ 3.0	25	3.1	2007年 参加予定	2010年目標
ポーランド	1.2	▲ 2.2	42	5.2	未参加	2011年

経済動向 - 株価の推移

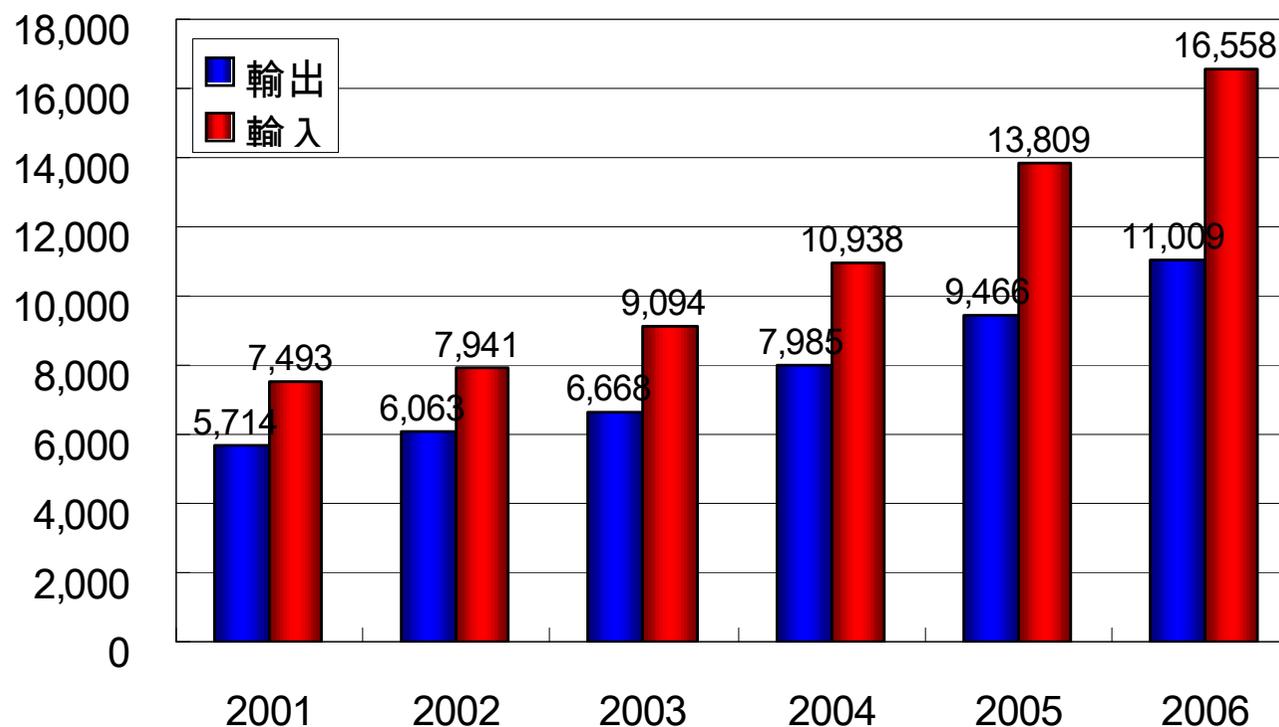
- 株価は近5年で上昇傾向にあり、EU加盟見通しが確実になった06年10月以降、急激に上昇



経済動向 - 輸出構造

- 衣料、鉄製品などを中心に輸出も伸びているが、燃料などの輸入増加ペースの方が速く、貿易赤字は拡大している。

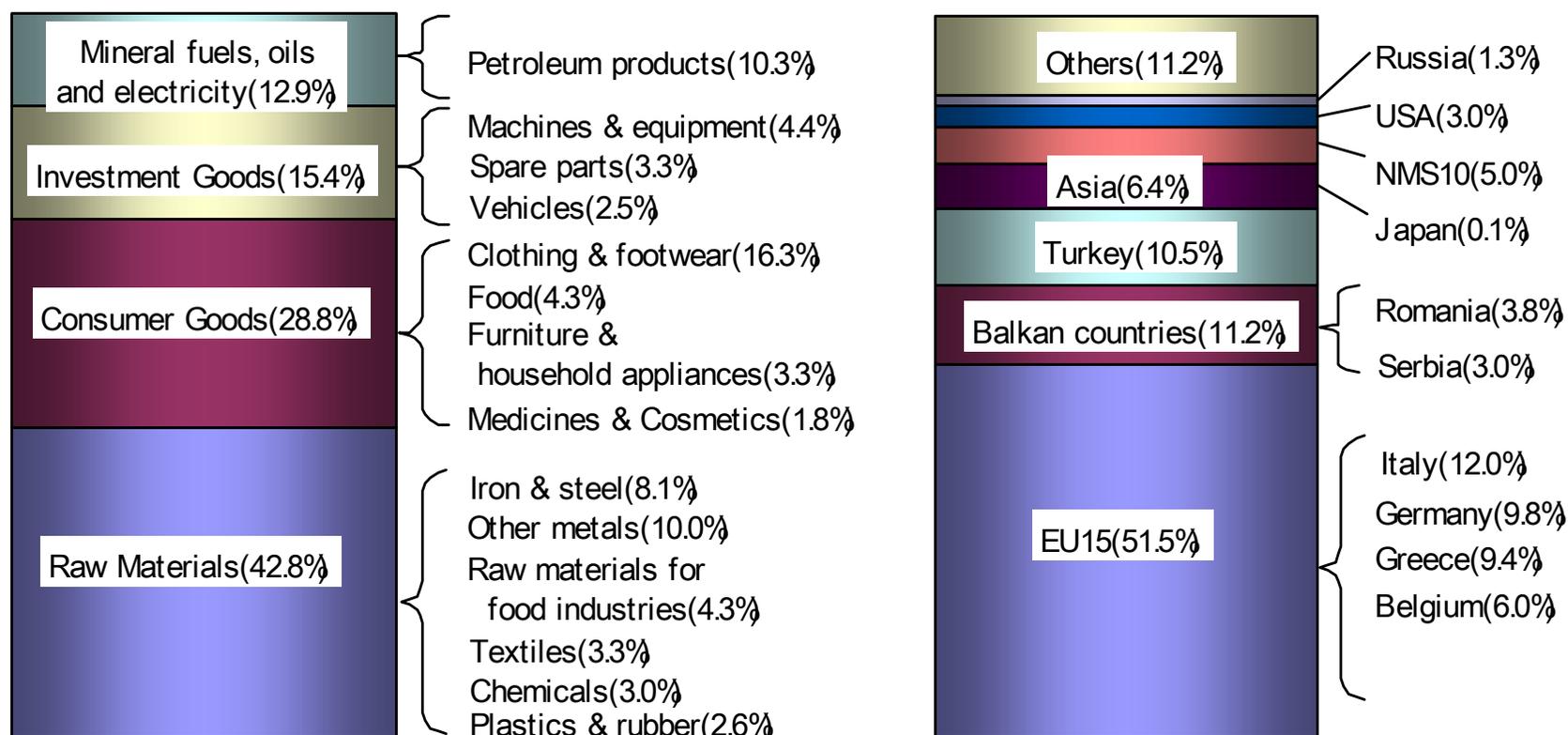
百万ユーロ



出所：ブルガリア中央銀行、2006年は1～11月

経済動向 - 輸出構造

- 主要輸出品目は衣料で、輸出先はイタリアやドイツのほか、トルコや近隣バルカン諸国が主流

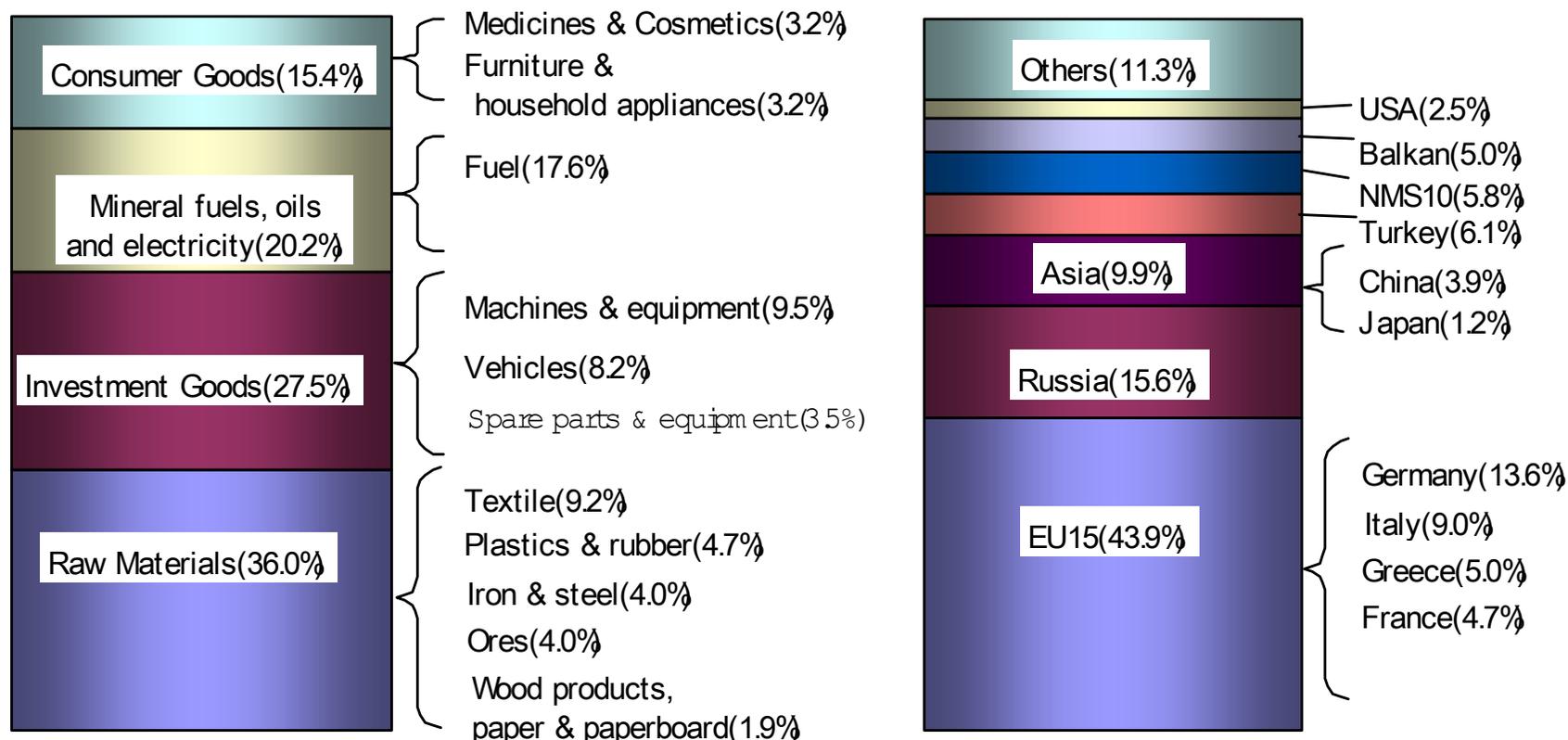


出所：ブルガリア中央銀行

輸出総額94億6,630万ユーロ (2005年)

経済動向 - 輸入構造

- 主要輸入品目は原油・ガス、輸入先はロシアが主流で、ドイツ、イタリアなどからの自動車や工作機器の輸入も多い

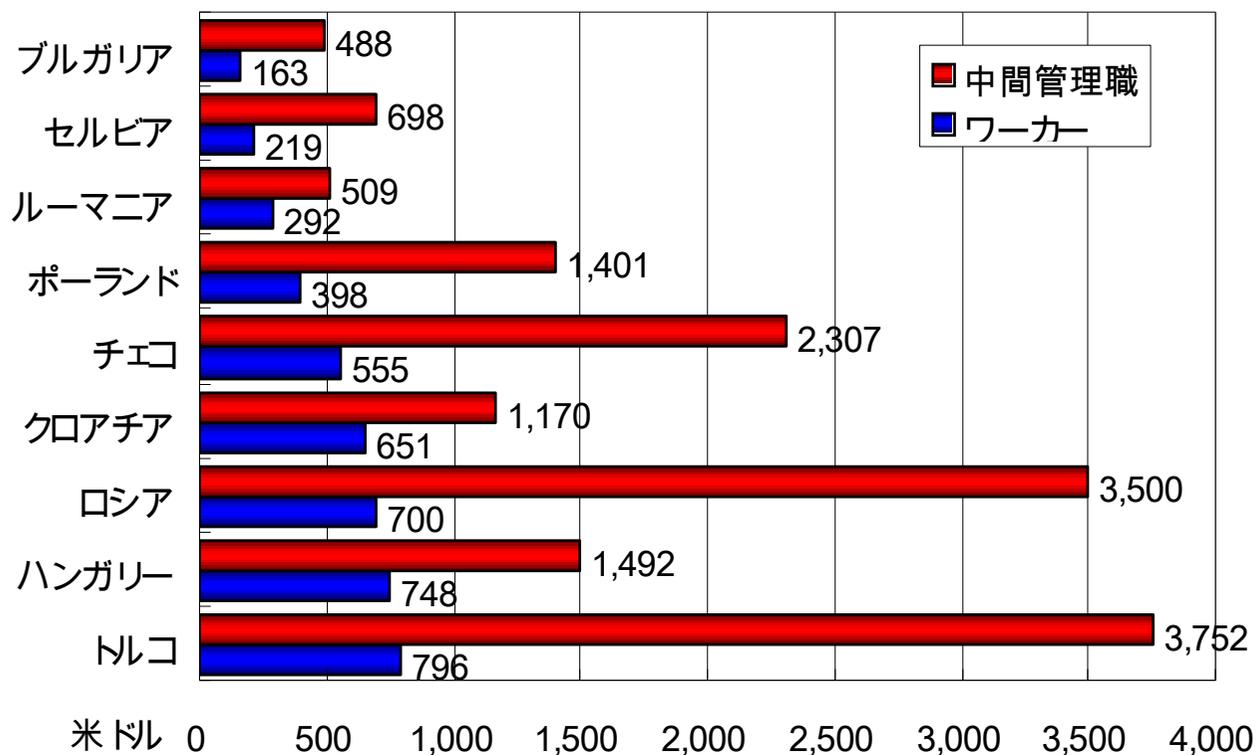


出所：ブルガリア中央銀行

輸入総額146億6,770万ユーロ (2005年)

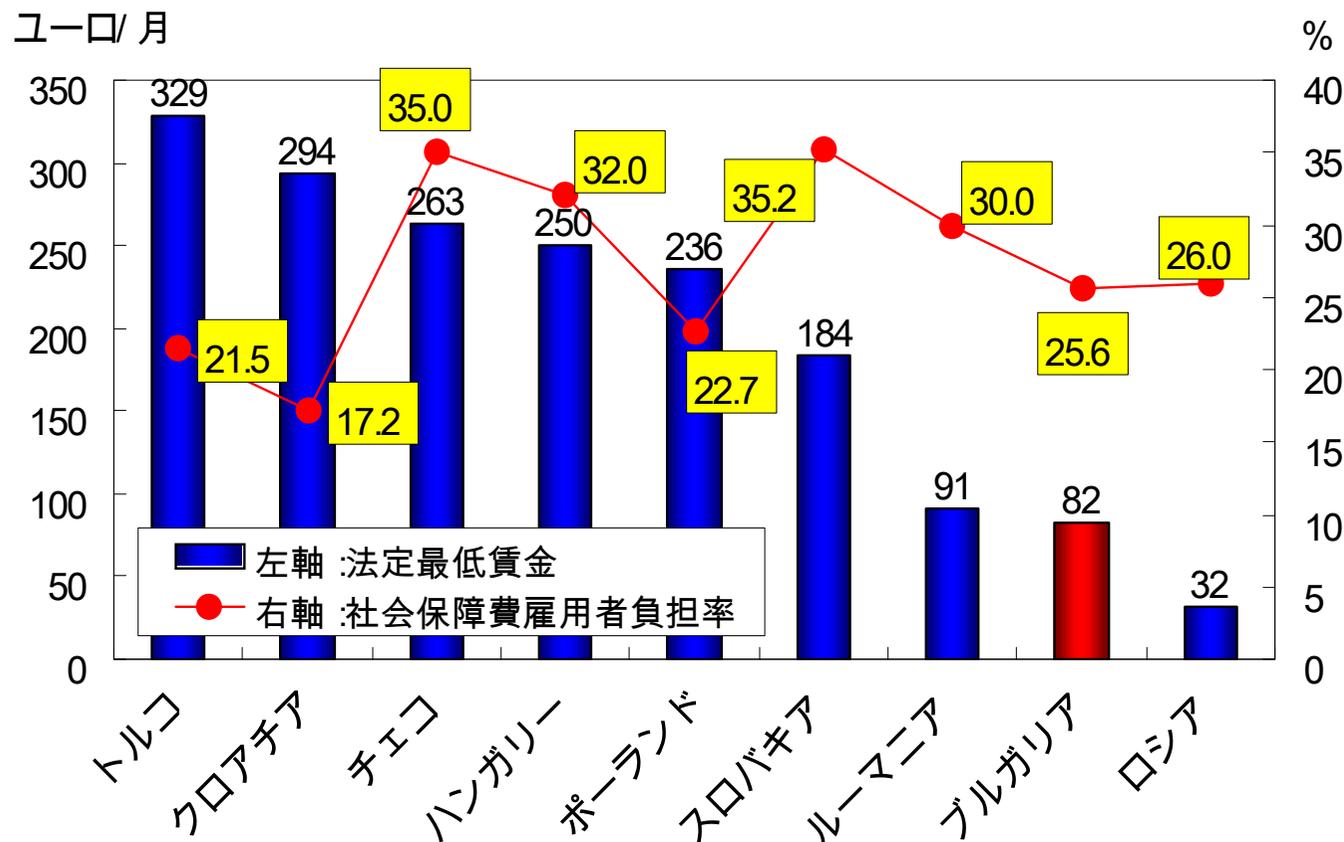
投資環境 - 平均月額賃金（グロス）

- 2004年に加盟した中・東欧各国よりも一段と賃金は低い



投資環境 - 最低賃金・社会保障費負担

■ 法定最低賃金は中・東欧諸国のなかでも安く、隣国トルコの約4分の1

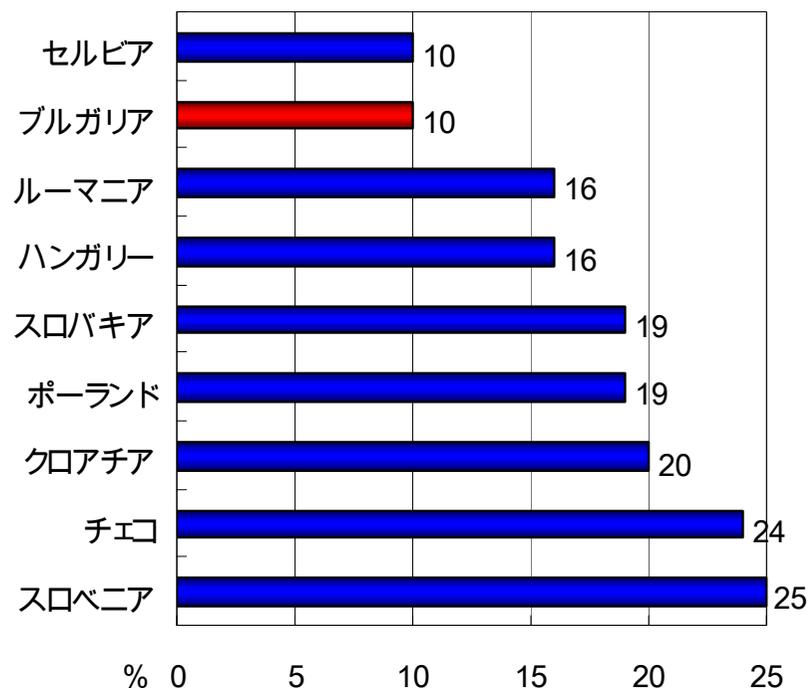


出所：JETROコスト比較調査、2006年実施

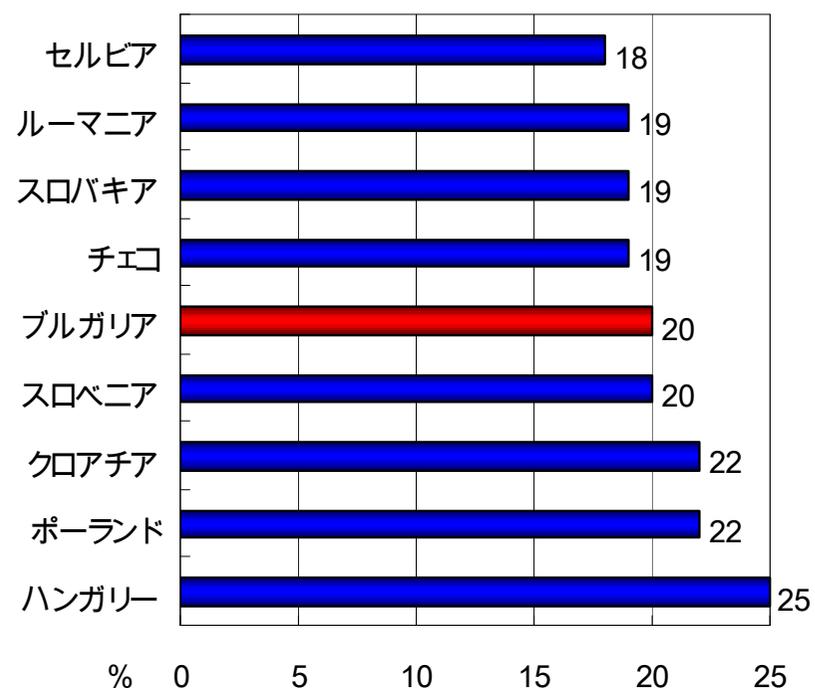
投資環境 - 税率

- 法人税率は欧州でも最も低いレベル
- 他の中東欧諸国も追随して引き下げる方向にあるが、西欧からの反発も強い

法人税率



付加価値税 (VAT)

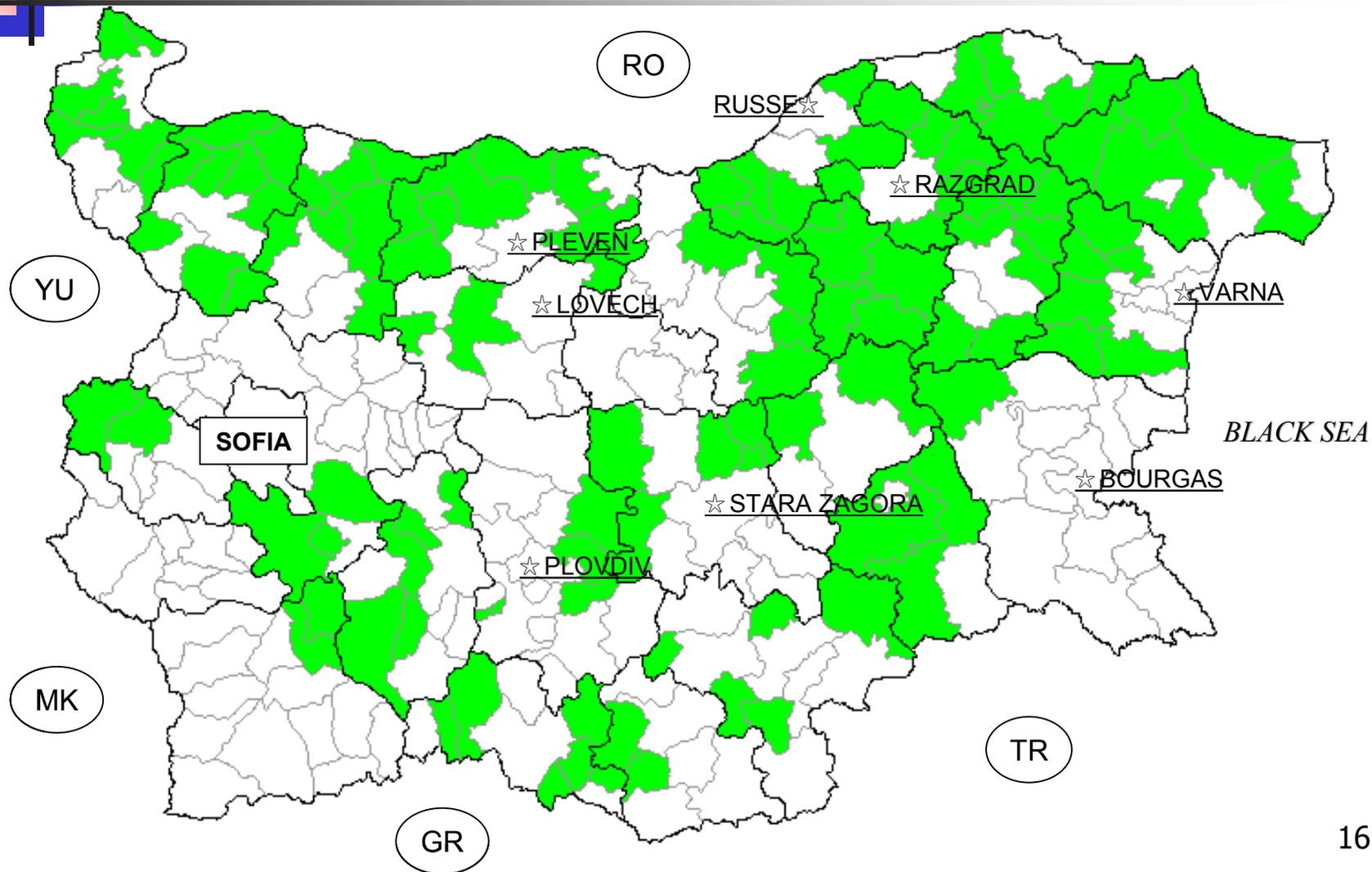


出所：欧州委資料等、2007年1月時点

投資環境 - 投資優遇制度

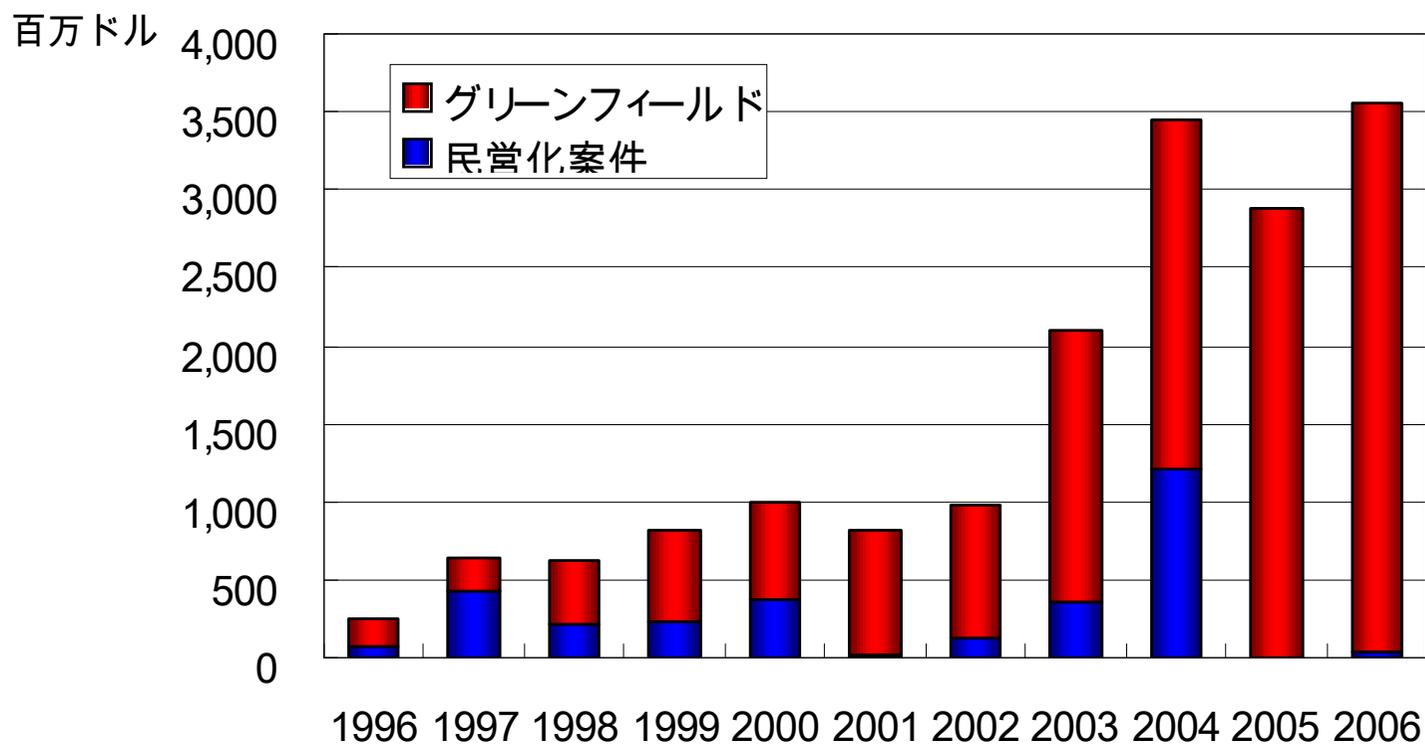
- 最大5年間の法人所得税免除
 - 毎年財務相が承認する高失業率地域リストの対象地域に進出した製造業
 - 全ての事業所が当該地域に設置されること
 - 全ての資産（銀行預金、子会社等への投資を除く）が当該地域に設置されること
 - 免税申請に当たり、税、社会保険、罰金の利子等の未払いの負債やその他疑わしい負債がないこと
- VAT支払い免除
 - 投資期間が2年以内
 - 投資規模が1,000万レバ（約500万ユーロ）以上
 - 新規雇用50人以上、他
 - 財務相から事前承認必要
- その他の優遇措置
 - 社会保障関係費用助成
 - 労働者訓練費用助成

投資環境 - 高失業率地域 (2005年)



投資環境 - 民営化とグリーンフィールド ルド

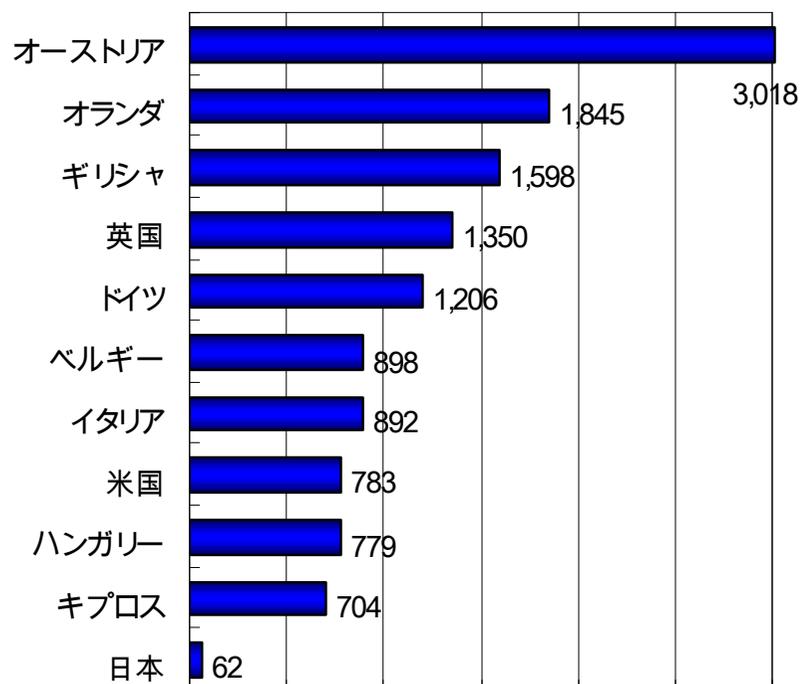
- 民営化案件は2004年にフェードアウトしたが、グリーンフィールド投資の増加により、外国直接投資額は増加基調



出所：ブルガリア投資庁、2006年は9月時点

投資環境 - 投資国と分野

- 外国直接投資は、オーストリア、オランダ、英国などによる金融機関買収、オーストリア、ドイツ、イタリアによるエネルギー部門買収が顕著



百万円 0 500 1,000 1,500 2,000 2,500 3,000

出所：ブルガリア投資庁、2006年9月時点累積値

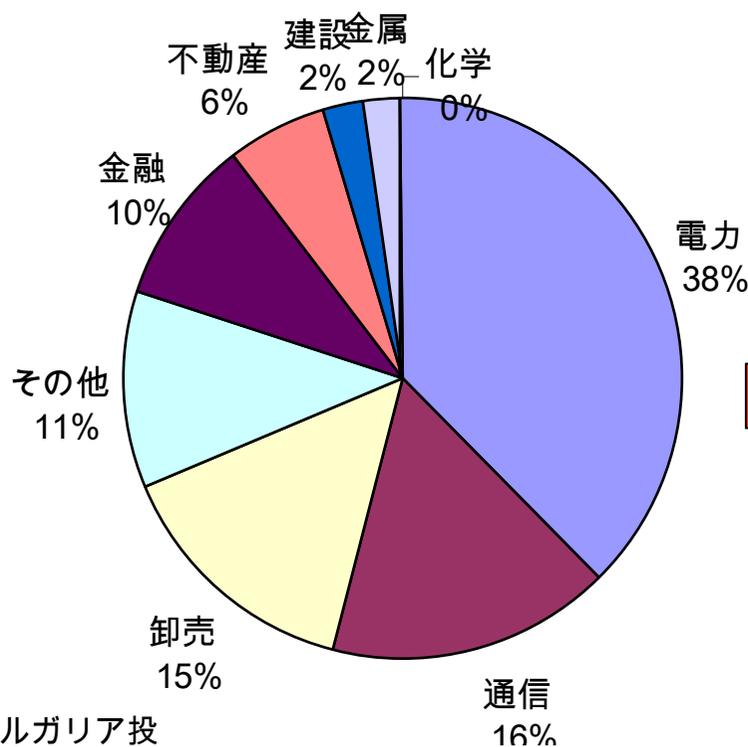


百万円 0 500 1,000 1,500 2,000 2,500 3,000

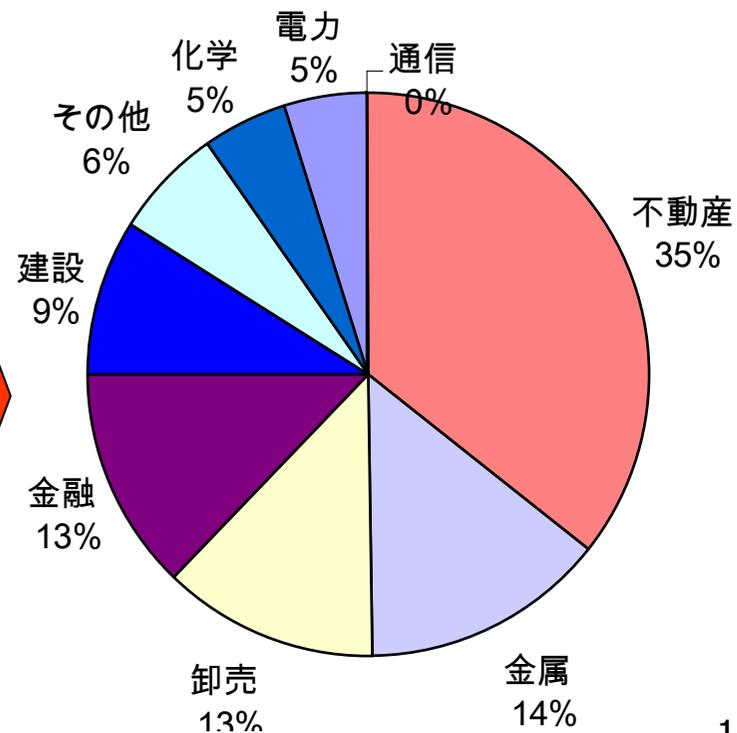
投資環境 - 投資部門の変化

- 不動産、金融部門の投資が増加し、特に英国からの投機マネー流入が顕著
- 民営化型の電力、通信分野の投資が減少

2004年



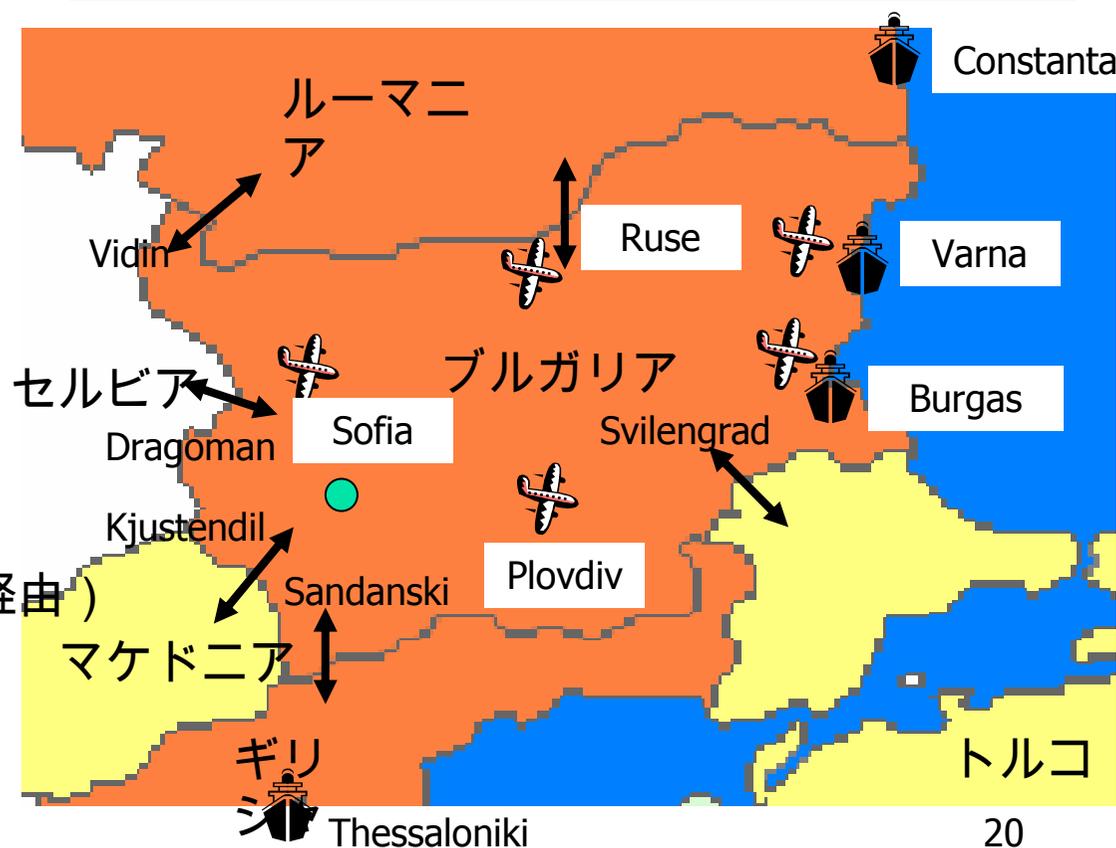
2006年 (1~9月)

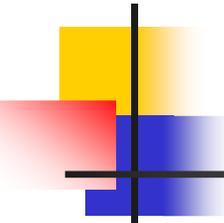


投資環境 - 物流・交通の現状

- ソフィアからの航空便
 ロンドン：3時間半
 モスクワ：3時間
 テルアビブ：2時間半
- ソフィアからの陸運
 ウィーン：約2日
- ソフィアからの海運
 ロッテルダム：15日
 横浜：30日
 ニューヨーク：30日
 (いずれもテッサロニキ経由)

西欧、中東欧・ロシア、中東のいずれの方面にもアクセス容易





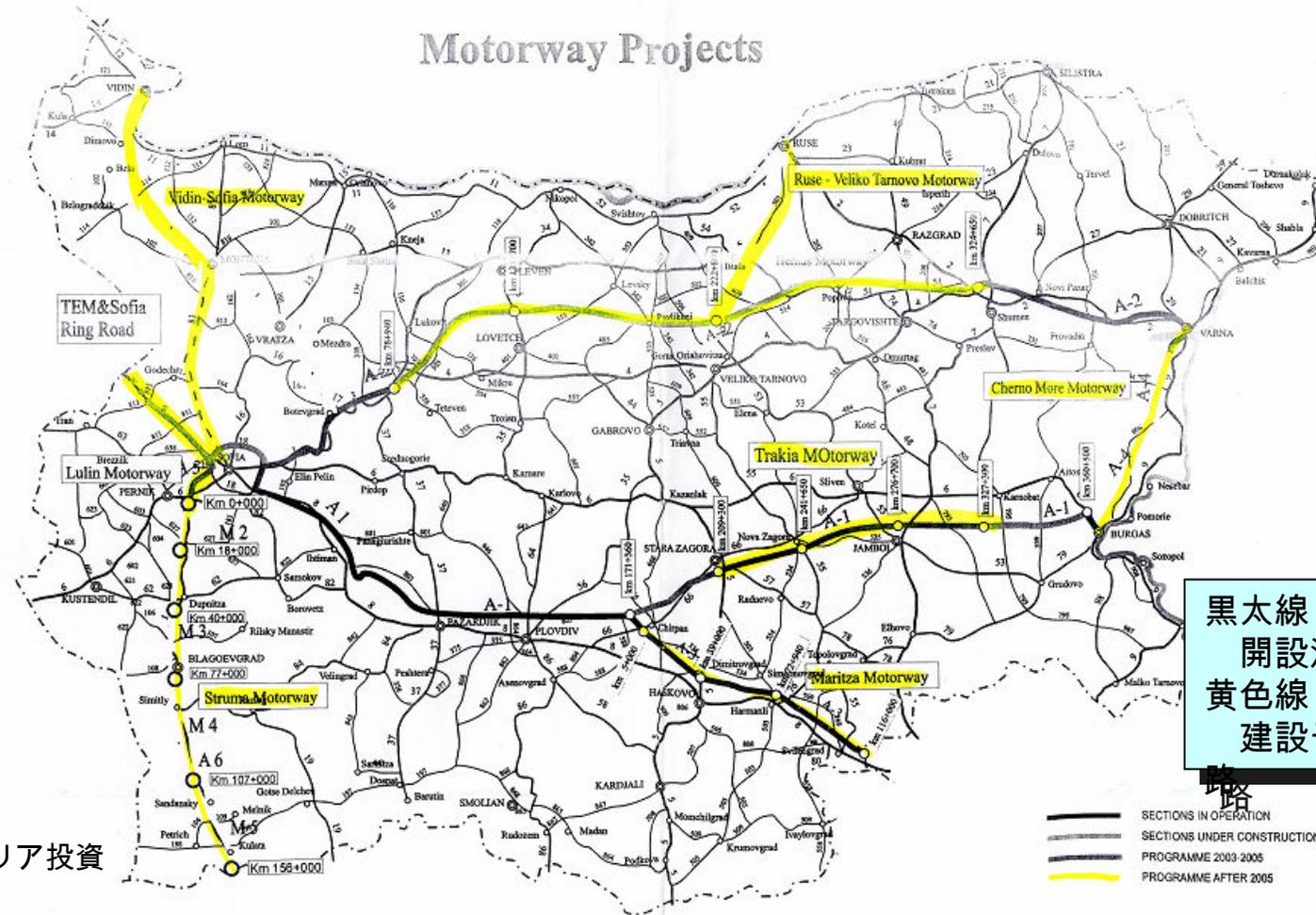
課題

- インフラの老朽化
EU補助金が流入しつつあるが、全国的な整備にはまだ時間がかかる見込み
- 社会主義的メンタリテイ
基本的に真面目で勤労だが、自己提案や創造的な分野ではいま一歩
- 非効率的な行政手続
改善されつつあるが、省庁間の縦割り行政が続く
- 不正・腐敗問題
EU補助金の不透明な運用や、通関での賄賂など、まだ改善点が多い
- 人材確保の困難化
管理職や専門職の採用は難しくなりつつあり、コストも上昇中
頻繁なヘッドハンティングや西欧への流出も懸念

課題 - 全国を網羅していない高速道路



Motorway Projects

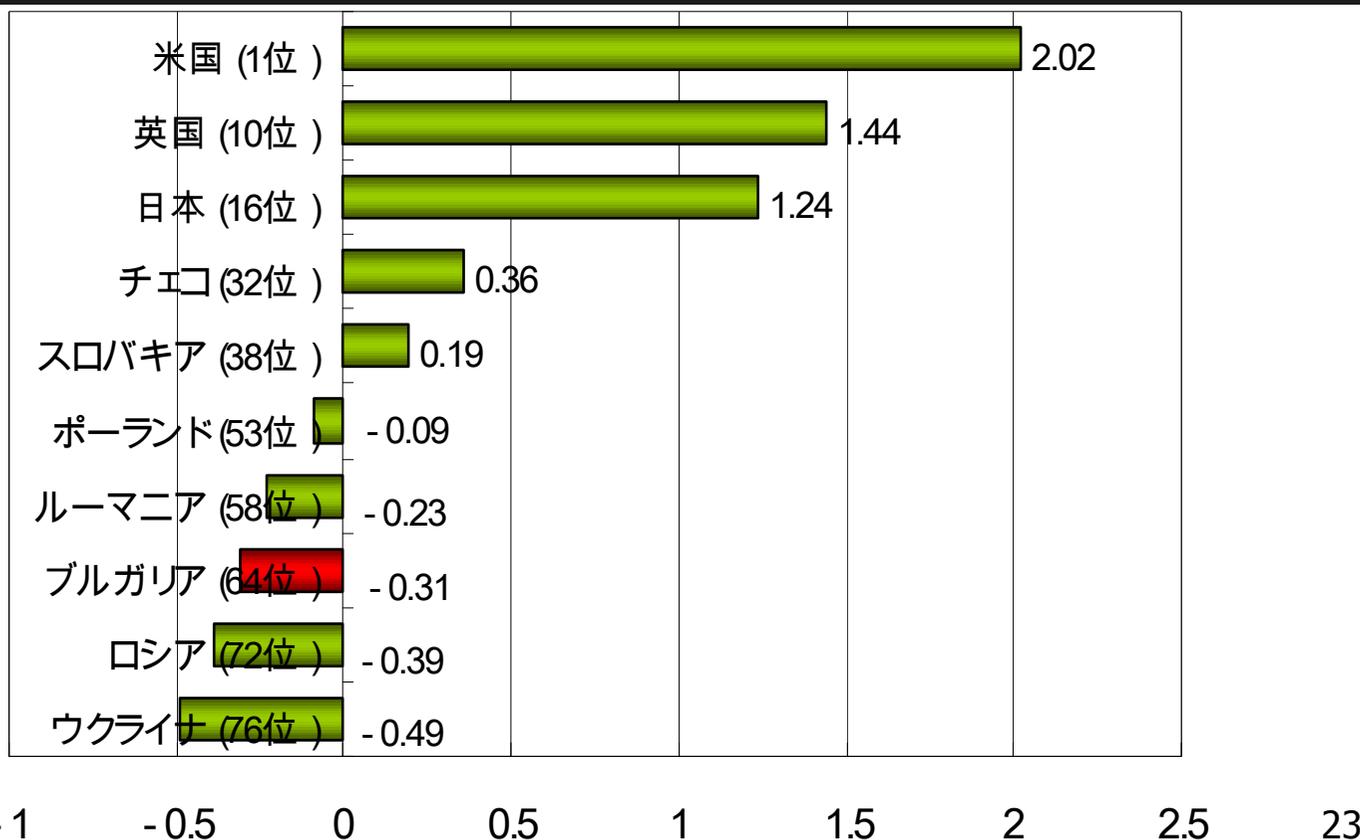


黒太線：
開設済高速道路
黄色線：
建設予定高速道

出所：ブルガリア投資
庁

課題 - 整備が遅れる情報インフラ

- 先進国には大きく劣り、中・東欧諸国のなかでも低位
- World Economic Forumの調査によると、ブルガリアは115か国中64位

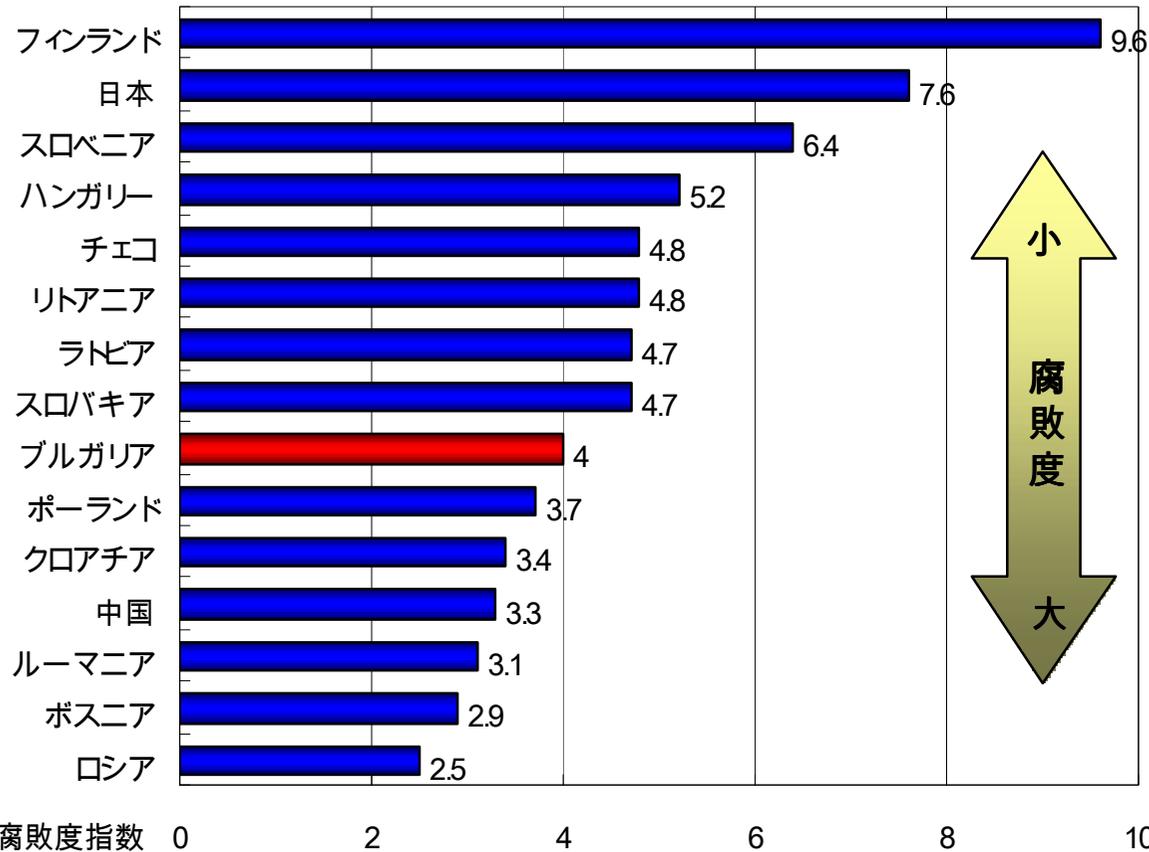


X軸は「Networked Readiness Index」と呼ばれる指標で、値が大きいほど情報インフラの整備度が高い

出所：World Economic Forum “Global Information Technology Report 2005/06”より

課題 - 汚職・腐敗度

- 中・東欧諸国では中位で、近年は大幅な改善は見られず



投資機会—EU加盟の影響

Positive

- 外国投資、進出企業の増加
- EU基準・ルール導入によるEUとのハーモナイゼーション
- 関税手続きの撤廃
- 物流環境の改善（ギリシャ、ルーマニアとのアクセス改善）

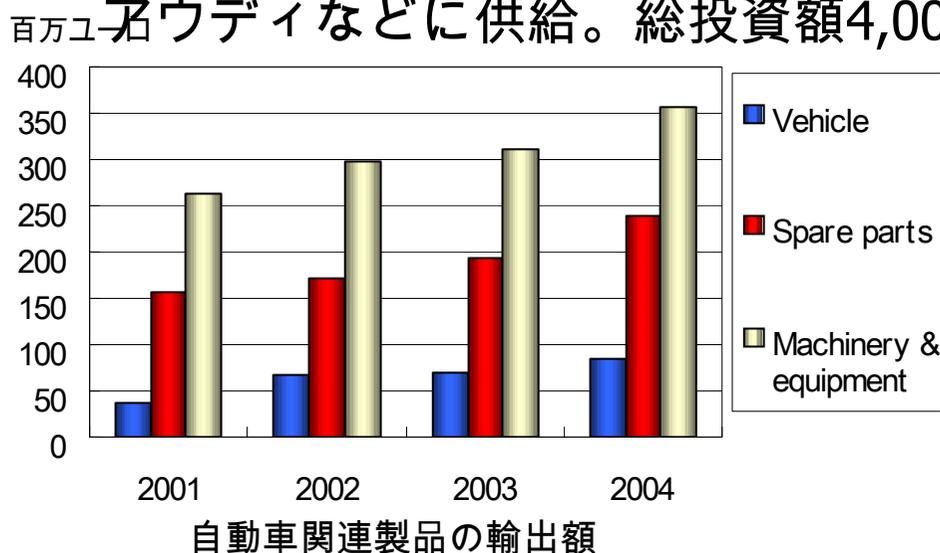


Negative

- 物価の上昇、投機マネー流入による不動産価格の高騰
- 西欧などへの人材流出
- 賃金上昇による投資コストの増加
- 環境規制などのEU規制導入による投資コストの増加

投資機会 - 自動車部品産業

- EPIQ....ベルギーの自動車部品メーカーで、1997年にBotevgrad (ソフィア近郊) に工場設立。電子モジュールをデルファイに、排ガス温度センサーをBMWに供給。2003年売上高は4,000万ユーロ、従業員約1,300人。
- Montupeフランスの自動車部品メーカーで、2006年に北部Ruseに工場を建設し、アルミホイールやエンジン部品をルノーやPSA、石ウディなどに供給。総投資額4,000万ユーロ、従業員約500人。



出所：ブルガリア投資庁

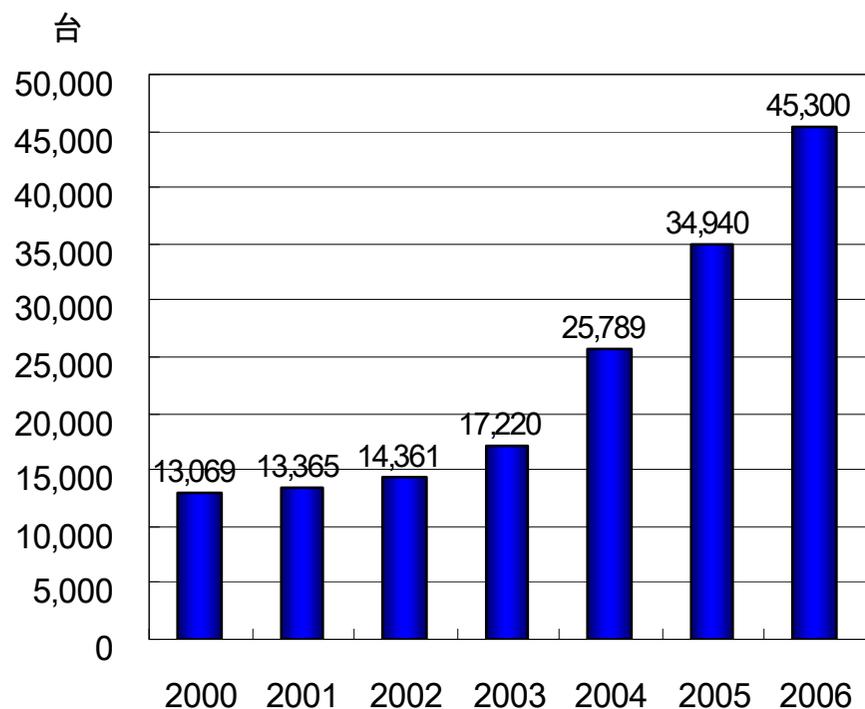
役職	ユーロ
エンジニア	409 ~ 558
熟練作業員	236 ~ 372
非熟練作業員	136

自動車部品メーカーの
月額平均賃金 (2006年、グロス) 26

投資機会 - 自動車市場の現状

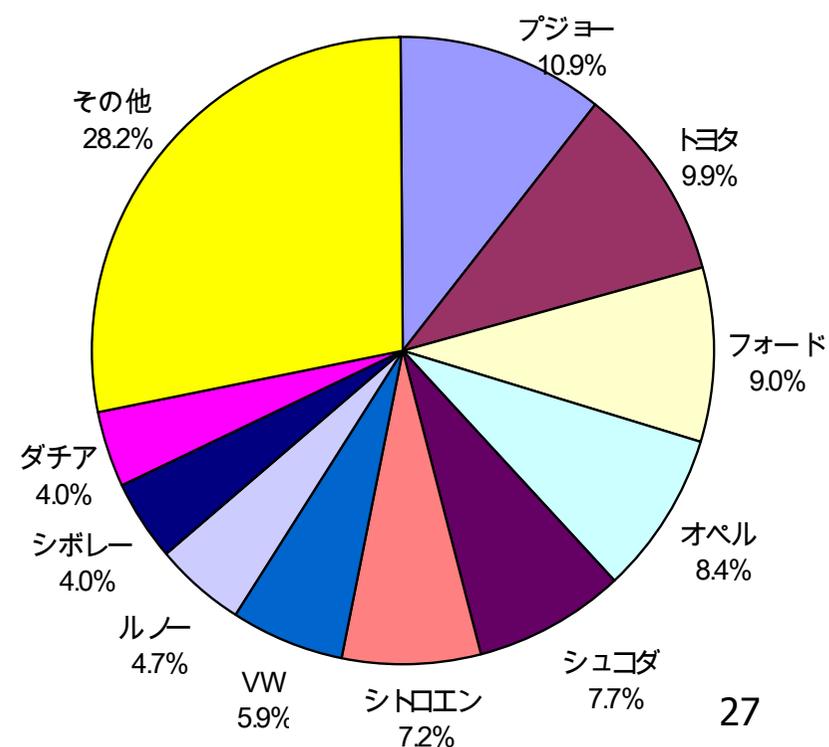
- ここ数年の販売台数の伸びは著しい
- メーカー別では、欧州勢に混じってトヨタが健闘

ブルガリアの新車販売台数



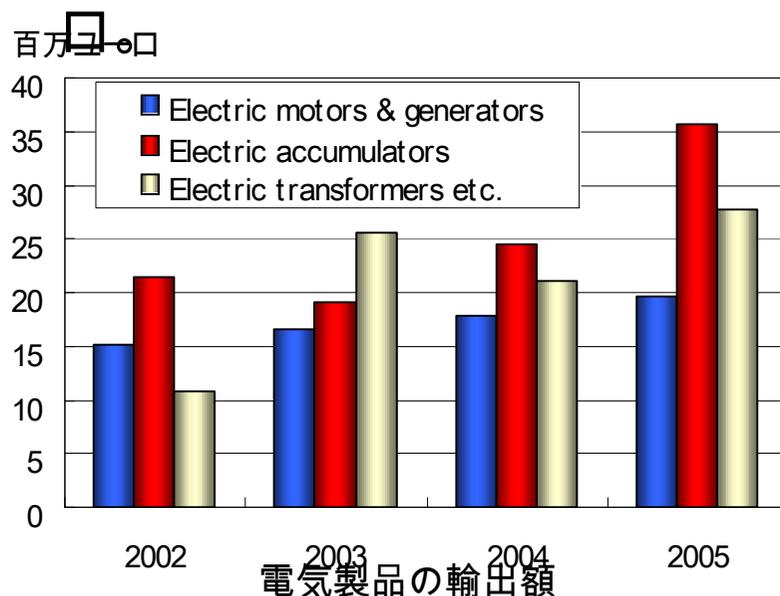
出所：ブルガリア自動車輸入業界（UIAB）

メーカー別新車販売シェア（2006年）



投資機会 - 電機・電子産業

- 上海広電....2006年10月に中部のVeliko Turnovo市にLCD製造工場を設立。当初は液晶テレビを年間10万台製造する。総投資額約100万ユーロ、従業員約50人で、主要部品は中国から調達する。
- シーメンス....2006年9月に変圧器製造工場をBlagoevgrad市（ソフィア南部）に設立。電力や通信などの民営化案件で自社製品を売り込む戦略で販売を伸ばし、2005年の売上高は1億4,100万ユーロ



出所：ブルガリア投資庁

役職	ユーロ
電子部品テスター	600 ~ 1000
エンジニア	409 ~ 558
熟練技術者	236 ~ 372
非熟練技術者	136

電気・電子メーカーの
月額平均賃金（2006年、グロス）28

投資機会 - 主なIT企業

- SAP....2000年に研究所をソフィアに設立し、主にJavaによるビジネス・アプリケーションソフトの開発を実施
- HP....2006年にグローバルサポートセンターをソフィアに設立し、欧州・中東・アフリカの顧客企業のバックオフィス、システム診断などを行う
- マイクロソフト....2007年中にテクニカルサポートセンターをソフィアに設立し、南東欧の顧客にサービスを提供する

ブルガリアにソフト開発拠点、アウトソーシング拠点を設けることの

.....

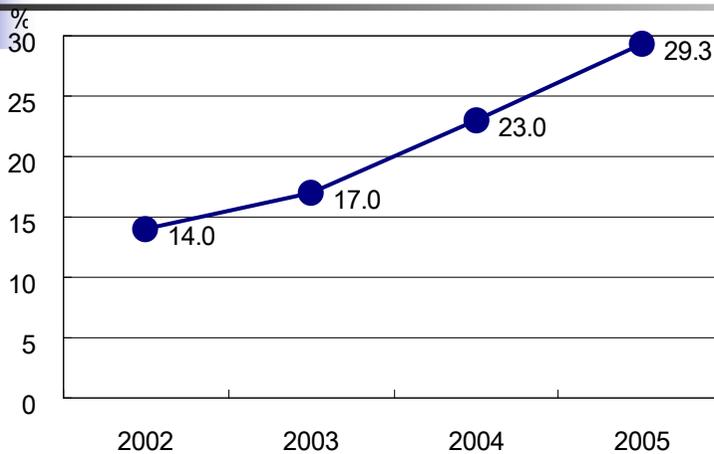
メリット

- ・ 欧州に近い
- ・ ITが得意
- ・ EURLールの適用
- ・ 多言語対応が得意

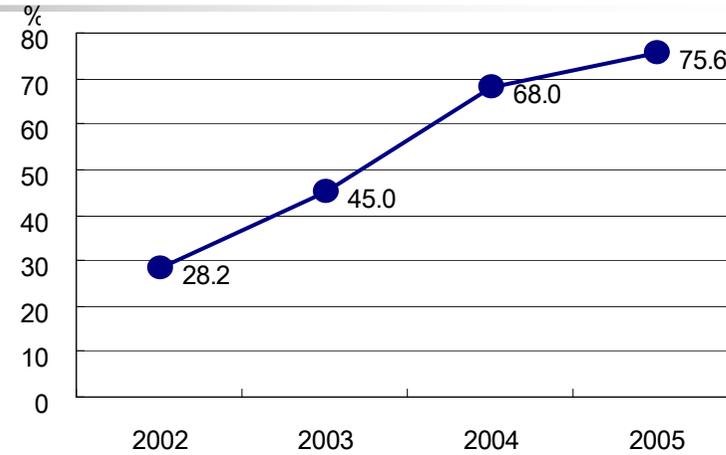
デメリット

インドや中国に比べて人材の確保が難し

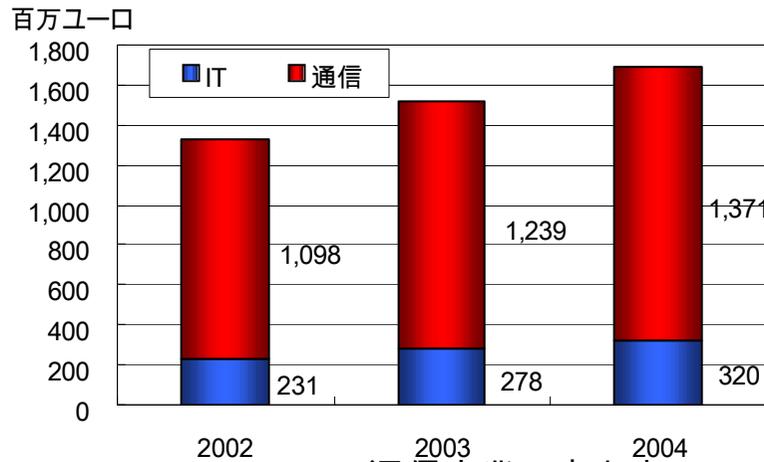
投資機会 - IT市場の現状



インターネット使用比率



携帯電話所有比率



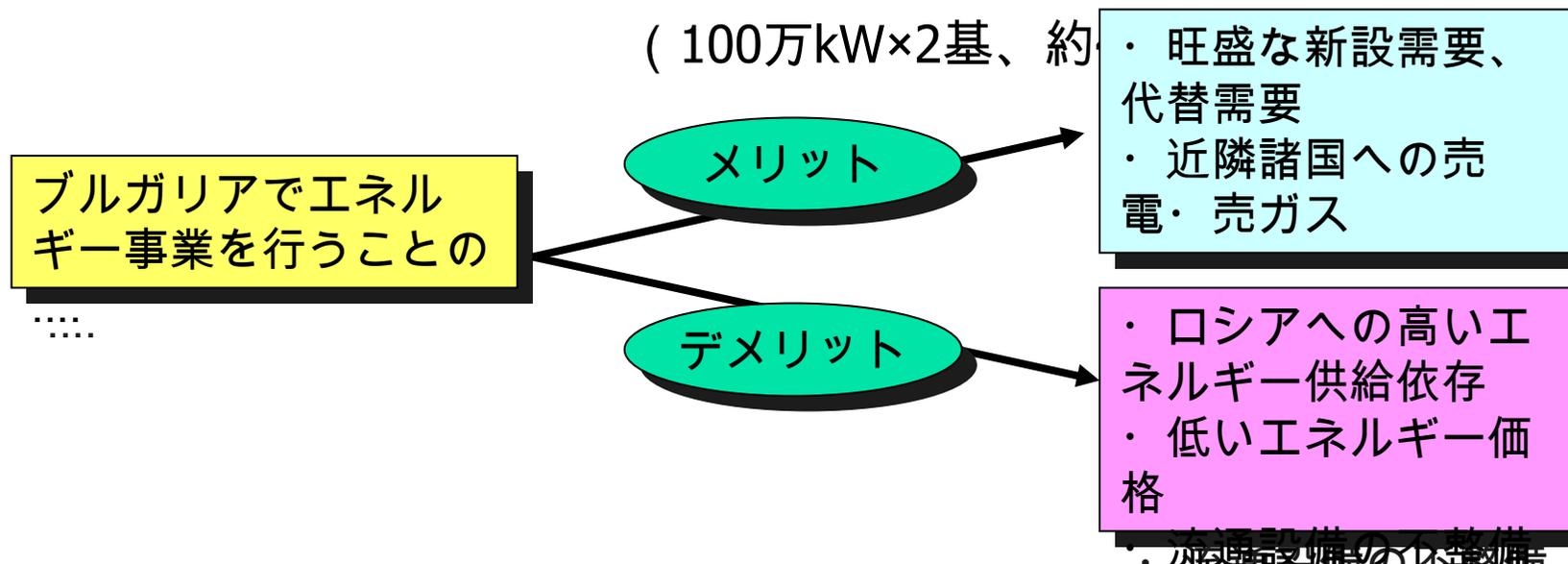
IT・通信産業の売上高

役職	ユー
マネージャー (外資)	710
開発者 (外資)	600
ネットワークエンジニア	500
マネージャー (国内企業)	400
ウェブサイト技術者	250

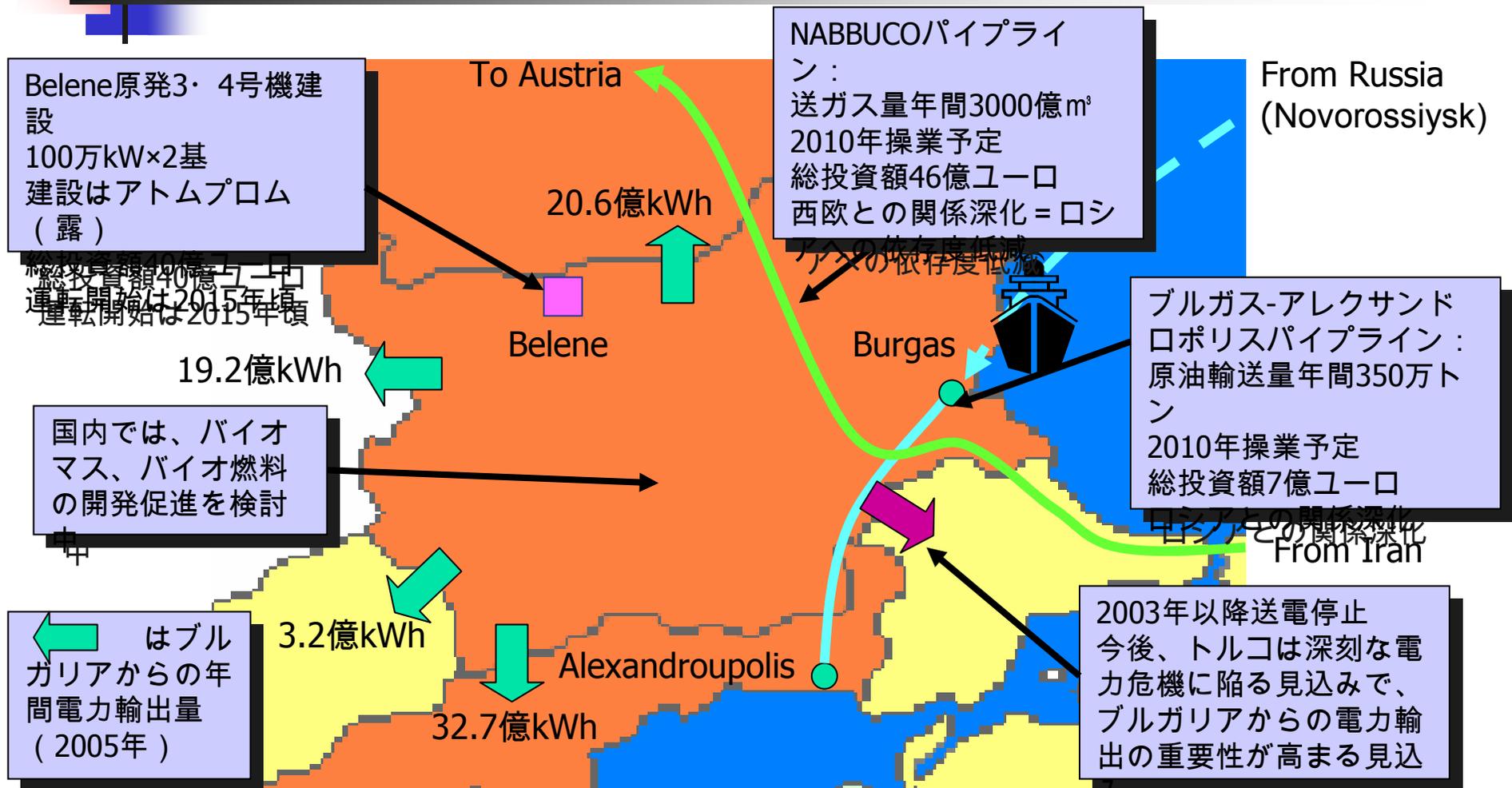
IT企業の月額平均賃金 (2004年、グロス)

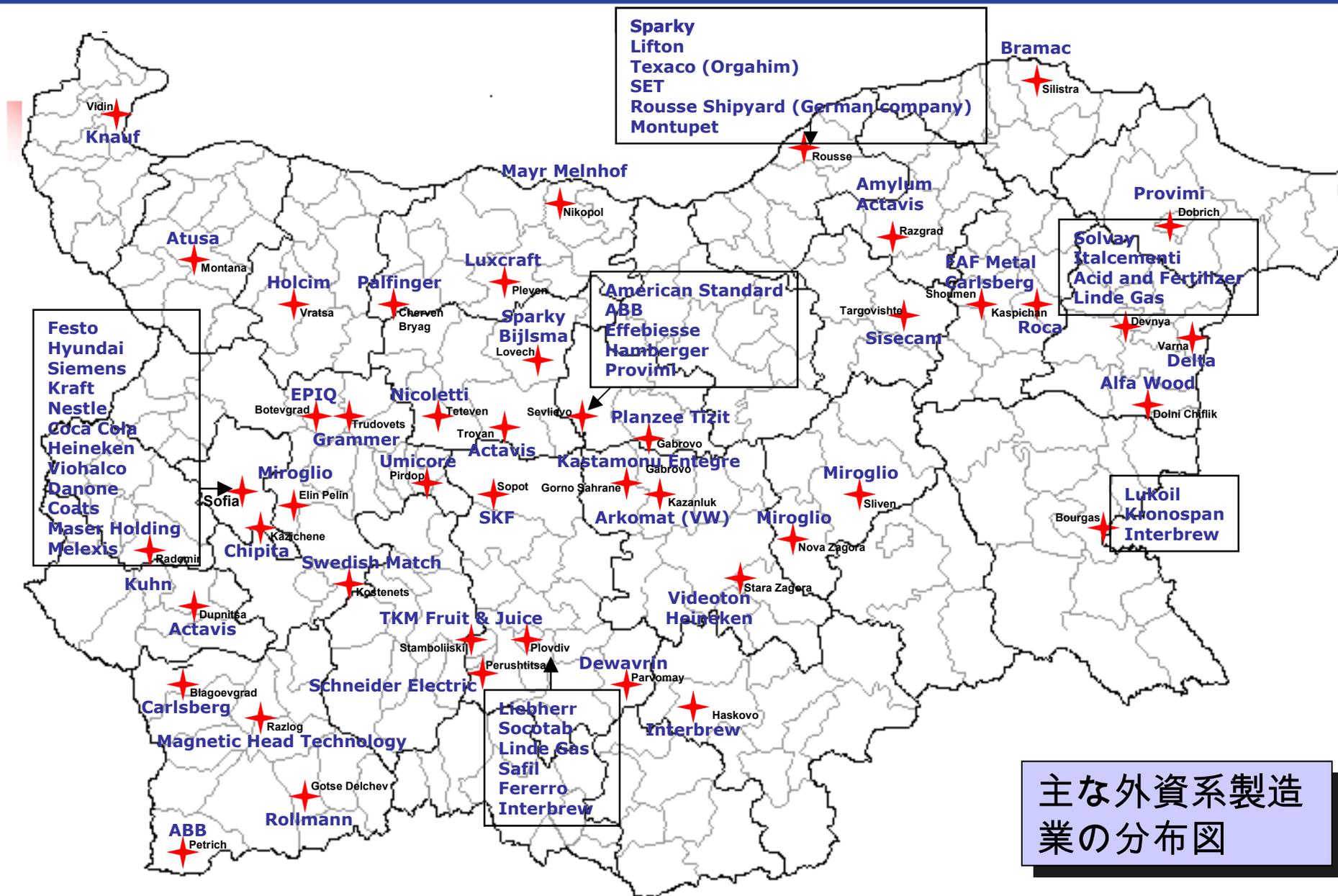
投資機会 - エネルギー業界

- E.ON (独)、CEZ (チェコ)、ENEL (伊)配電会社買収 (各1億ユーロ以上)
- OMV (奥)ガソリンスタンド展開
- AES (米)マリッツアイースト火力発電所建替え (約10億ユーロ)
- アトムプロム (露)ベレネ原子力発電所の建設工事を2006年に落札



投資機会－エネルギーの要衝に



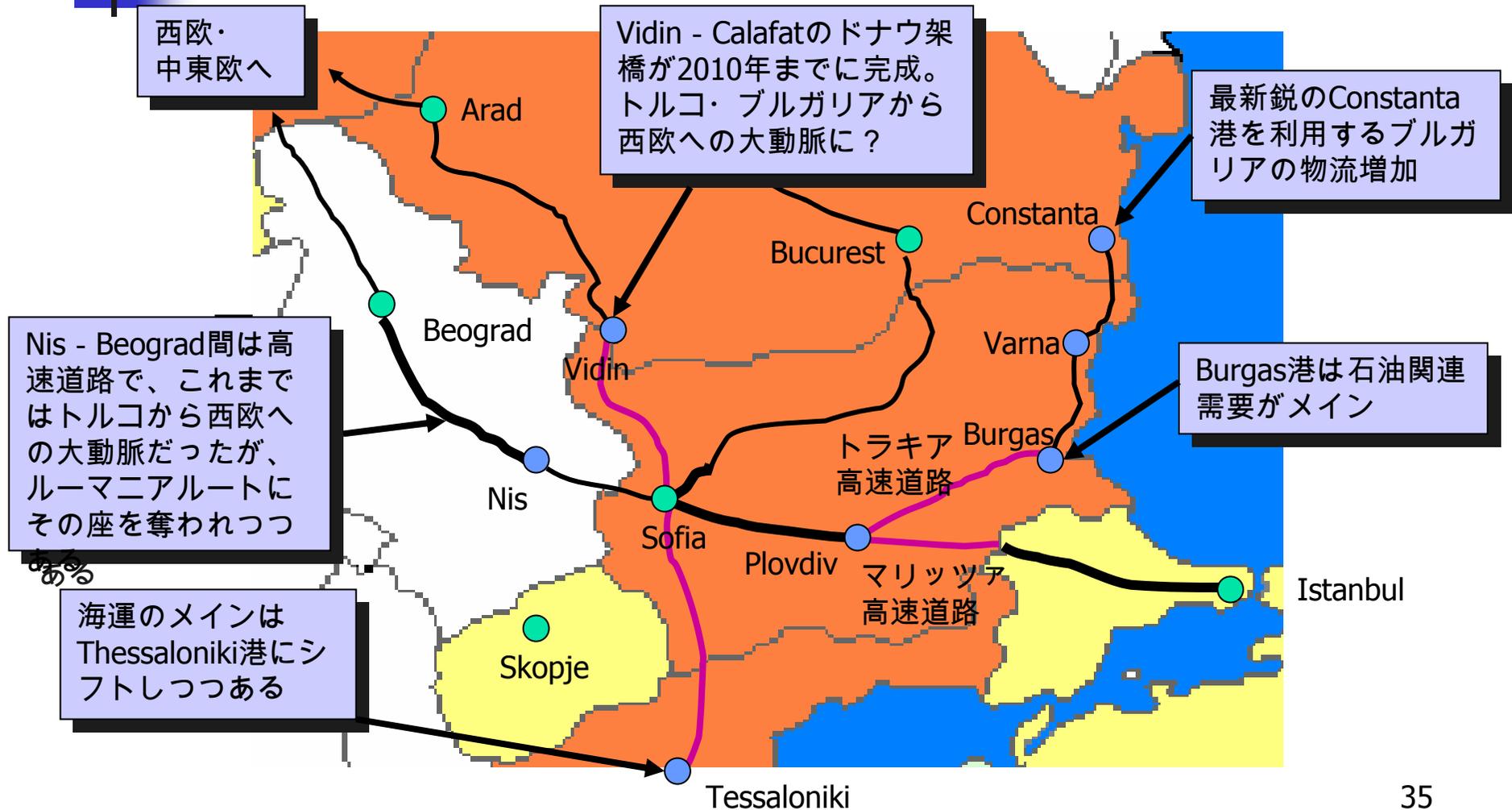


主な外資系製造業の分布図

投資機会—現地進出日本企業

分野	企業名	業種内容
貿易・投資	三井物産	ODA案件等
	三菱商事	ODA案件等
	伊藤忠商事	貿易
製造業	矢崎総業	自動車ハーネス製造
	NOVAC	かばん、皮製品製造
エネルギー	三菱重工	風力発電所建設・運営
土木・建設業	大成建設	ソフィア市地下鉄拡張プロジェクト
サービス業	徳洲会病院	病院経営
金融業	Tokuda Bank (徳洲会グループ)	銀行業
販社	Sumitomo Motors	マツダ車販売
	Summit Agro	日本製農薬販売
	TM-Auto	トヨタ車販売
	日産	日産車販売
	ソニー	ソニー製品販売
	ファナック	精密機器販売・サービス
	Koshin Bussan	医療品貿易

投資機会—変化する物流



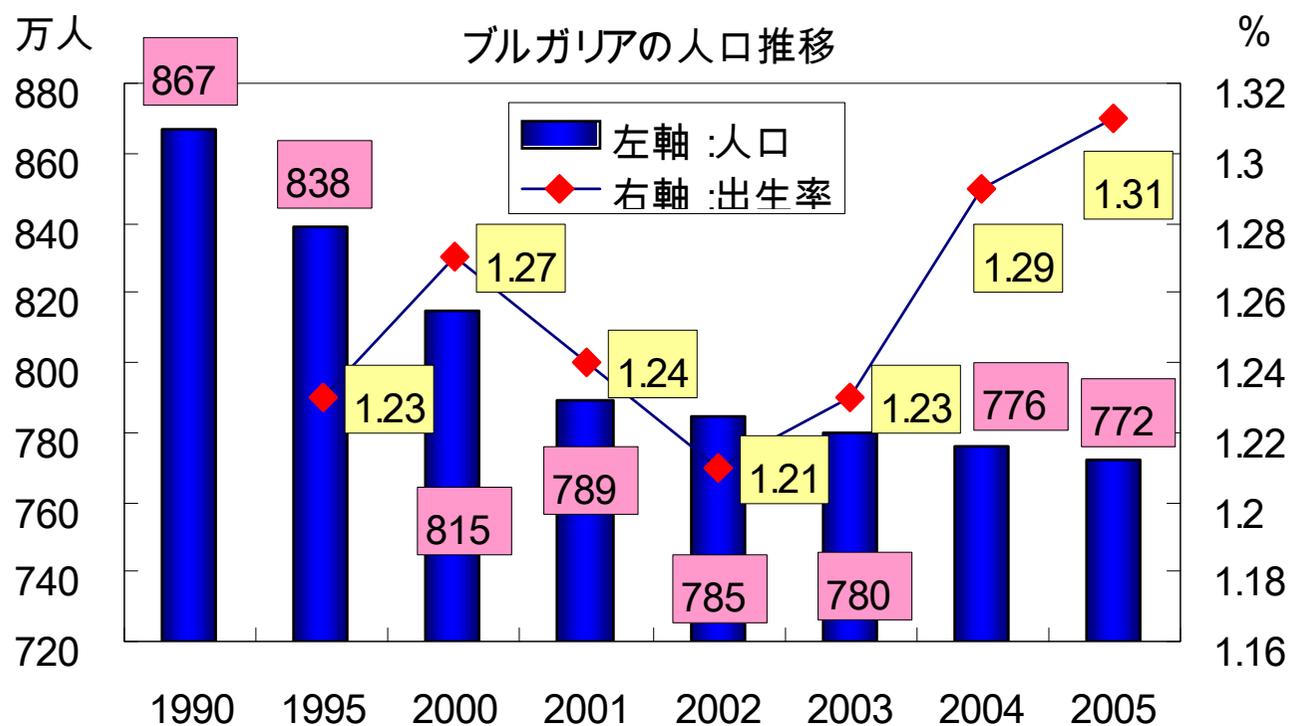
投資機会 - 国境通過の現状

- EU加盟国との通関は劇的に改善
- 非EU加盟国との通関手続きは以前と変わらないが、交通量の変化が通過時間に大きく影響

	乗用車	トラック
ブルガリア→ ルーマニア	IDカードだけで出入国可。チェックは1回だけ。通過時間15～30分。(交通量による)	簡易チェックのみ。通過時間30分～1時間。(交通量による)
ルーマニア→ ブルガリア	同上	同上
ブルガリア→ ギリシャ	同上	同上
ギリシャ→ ブルガリア	同上	同上
ブルガリア→ トルコ	パスポート、自動車証明書が必要。チェックは4回。通過時間約50分	従来通りの手続き。通過時間10～15時間
トルコ→ ブルガリア	同上	従来通りの手続き。通過時間約2日。土日は約3日
ブルガリア→ セルビア	パスポート、自動車証明書が必要。チェックは3回。通過時間約20分	従来通りの手続き。通過時間30分～1時間
セルビア→ ブルガリア	同上	同上

懸念材料 - 緩やかな人口減少

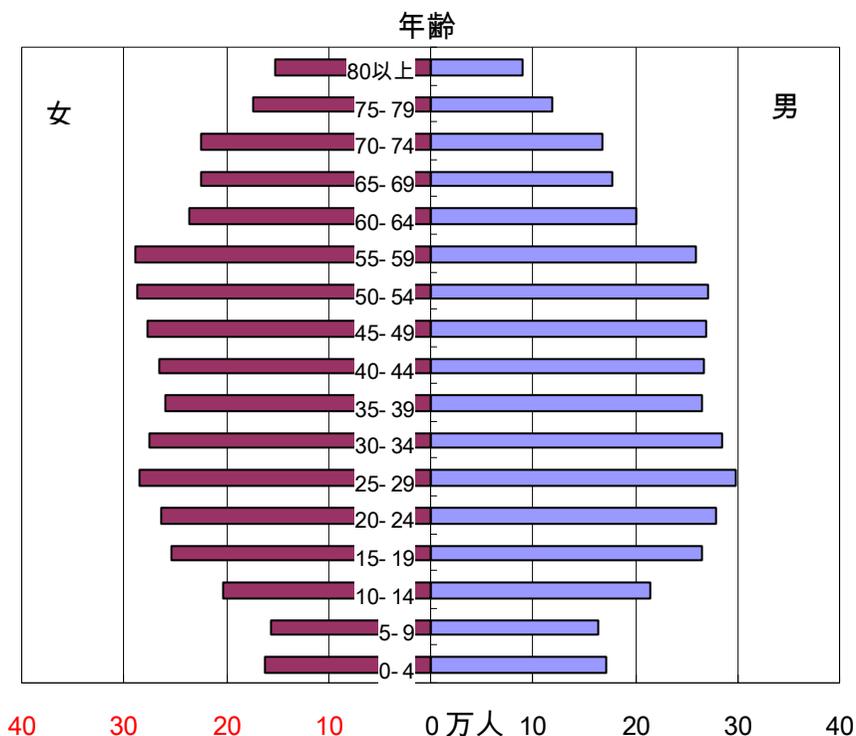
- 移民流出、低い出生率などにより人口は減少傾向で、2020年には約687万人にまで減少すると予測されている。



懸念材料 - 急速に進む高齢化

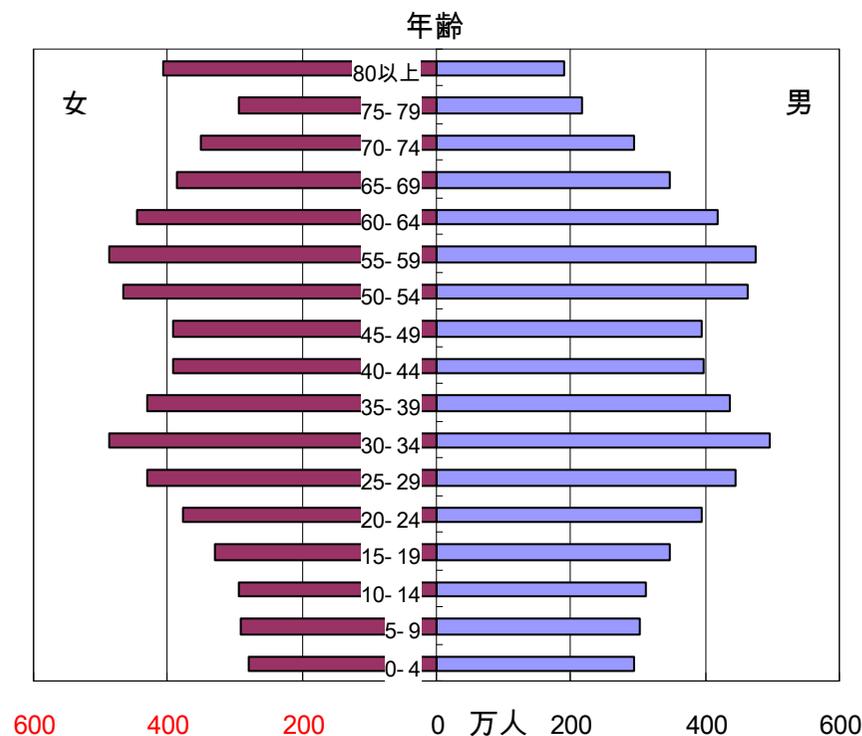
- 低い出生率、若年労働者の国外流出により、急速に高齢化が進んでいる

ブルガリア (2004年)



出所：ブルガリア統計局

日本 (2004年)



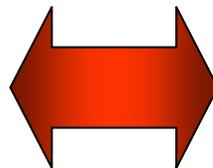
出所：総務省統計局

懸念材料－政治情勢

- 総選挙は2005年6月25日に実施。社会党を中心とする左派連合が与党第1党に。
 - 第1党 社会党 (BSP、中道左派) 81議席
 - 第2党 シメオン2世国民運動党 (SNM、中道、前与党) 53議席
 - 第3党 権利と自由の運動党 (MRF、トルコ系中道左派、前与党) 34議席
- 2005年7月27日に首相指名選挙実施、社会党のスタニシェフ党首が首相選出。
- 2005年8月15日、社会党、SIINM、MRFの3党で連立を合意。
- 2006年10月22日、大統領選挙が行われ、同29日の決選投票の結果パルヴァノフ大統領が再選。

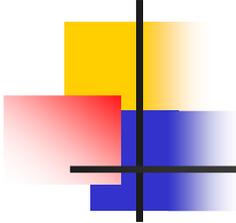
安定要因：

- 好調な経済
- EU加盟達成による充実感
- 比較的高いスタニシェフ首相の人気



不安定要因：

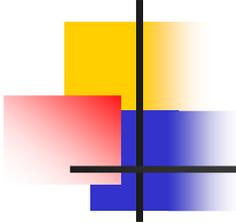
- 経済格差の拡大
- 物価の高騰
- 与党間の対立 (支持勢力、政策の違い)
- EU加盟達成後の目標喪失
- 政治家、官僚の汚職・不正



まとめ

1. EU加盟後も経済成長は堅調に推移し、外国投資の流入も続く見込み
2. インフラの整備や汚職対策も、EU加盟による改善が期待される
3. 低い法人税や投資優遇制度、優秀で安価な労働力は引き続き投資を誘引するだろうが、賃金や物価の上昇により、投資コストは徐々に高くなる傾向にある
4. ITなど、特定分野で急速に競争力を持つ可能性がある
5. EU加盟により、物流や交通の流れが大きく変わりつつあり、投資を検討する際はインフラの整備動向を注視する必要がある
6. 欧州とイスラム圏（中東）の狭間に位置することで、地の利を生かした新たなビジネスチャンスが広がる
7. 供給・流通の両面から南東欧におけるエネルギーの要衝になりつつあり、日本企業の進出チャンスは大きい
8. 他の中東欧諸国と同様、人口減少やエネルギー自給率の問題は長期的には成長に影を落とすが、問題解決には安定した政権の維持が必要

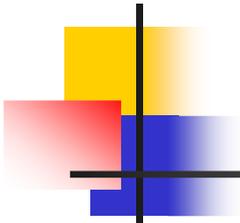




関係機関リンク集

- ブルガリア投資庁
<http://www.investbg.government.bg/fce/index.shtml?s=001&p=0109> (日本語)
- ブルガリア国家統計局
http://www.nsi.bg/Index_e.htm (英語)
- ブルガリア中央銀行
<http://www.bnb.bg/bnb/home.nsf/fsWebIndex?OpenFrameset> (英語)
- ブルガリア商工会議所
<http://www.bcci.bg/> (英語)
- ブルガリア税関
http://www.en.customs.bg/index_en.html (英語)
- ブルガリア経済エネルギー省
<http://www.mi.government.bg/eng/index.html> (英語)
- ブルガリア経済予測分析機構
http://www.aeaf.minfin.bg/index_en.php (英語)
- 在ブルガリア日本大使館
http://www.bg.emb-japan.go.jp/index_jp.htm (日本語)

ご清聴ありがとうございました



た

ブルガリア、スロバキアに関するお問合せは。
JETROウィーンセンター
三宅まで
k.miyake@jetro.at

JETROウィーンセンターでは、旧ユーゴ、中・東欧
に関するお問合せも受け付けております。